4組の取り組み～国語～

週に 2 回の国語の学習では、教師の提示する物に目を向けたり、言葉掛けに身体の動きで応えたりしながら、言葉と具体物（人）を一致させる学習をしています。学習の始まりに行う、呼名では自分の名前を「音」で聞き、言葉に気づき、身体の動きや声で応じることを目指して頑張っています。一学期の学習では、名前と自分の顔を一致させることができるよう、鏡で自分を確認しました。鏡をじっと見たり、顔を鏡に近づけたりする姿が見られました。

←名前を聞いて、自分の顔を確認している様子。

←自分の名前に気づき、左手の動きで応えることができた場面

←「きゅうしょく」と聞き、スプーンをもってイメージを膨らましている場面

←呼名に対し、「教師と手を重ねる」ことを学習している場面